

「淡路駅エリア計画」の位置づけ

（市計画調整局作成資料より引用）

○「エリア計画」について

国・府市・民間事業者（鉄道）・経済団体が参画する「新大阪駅周辺地域都市再緊急整備地域協議会」が作成する「新大阪駅周辺地域まちづくり方針」を構成する計画であり、新大阪駅、十三、淡路の各エリアにおいて、基盤整備や都市開発などの具体的な事業を盛り込んだもの（検討の深度化に合わせて順次更新）



○「淡路駅エリア計画」について

- 柴島浄水場機能集約の始動を契機として、新大阪に近接した場所に大規模な開発用地の存在を早期からPRして、良好な都市開発プロジェクトを誘致していくため、早期に「淡路駅エリア計画 ver1.0」をとりまとめる
- 国・府市・民間事業者（鉄道）・経済団体が参画する「新大阪駅周辺地域まちづくり検討部会」において、令和6年8月に「淡路駅エリア計画の骨格」を確認
- 地域意見を踏まえたブラッシュアップ、関係者間での調整等を経て、「エリア計画（素案）」を令和6年度末に取りまとめる



「淡路駅エリア計画」におけるまちづくりの基本的な考え方

（市計画調整局作成資料より引用）

○まちづくりの大きなコンセプト

- 交通利便性の高さ と 広大な将来開発用地を活かして、交流促進交通結節、都市空間の3つの機能を導入・集積し、**拠点性のさらなる向上**を図る
- **エリア全体の人の流れを強化**して、新たな開発と駅周辺のにぎわいと連携による相乗効果を図り、エリア全体としての価値向上につなげる
- 来訪者や地域住民にとって魅力ある、駅まち一体となった**人中心の居心地のよい空間づくり**をめざす

○基本的な進め方

都市機能の向上を図るゾーンを定め、ハード・ソフト両面の取組みを展開

都市機能の向上を図るゾーン

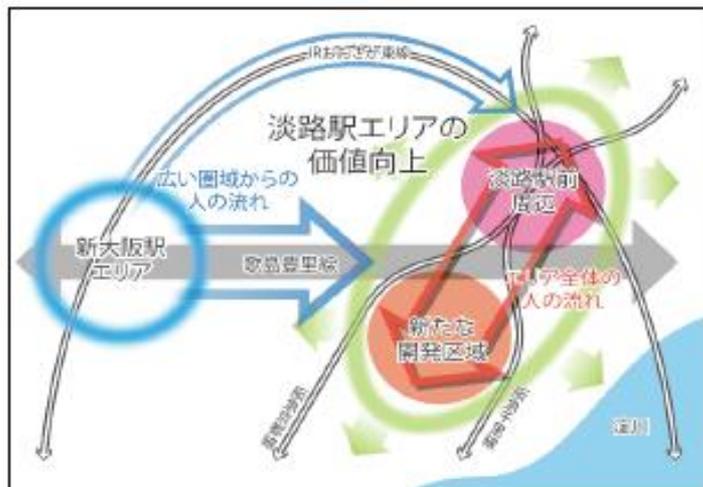
- エリア内4駅（JR淡路・阪急淡路・崇禅寺・柴島）の周辺
- 各駅に囲まれた将来開発用地とその周辺

駅まち一体の空間づくり（ハード整備）

- 新たな機能集積による拠点性の向上
- にぎわいを広げるネットワークの形成

人と人をつなぎエリアの活性化を図る取組み（ソフト施策）

- ハード整備と連携した取組みの検討





意見聴取の進め方について

（新大阪駅周辺まちづくり検討部会）

淡路駅エリア計画（素案）
のとりまとめ（3月下旬）

【令和6年度】

（東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会）

構想
部会

9 / 12
（部会）

エリア計画
の骨格の説明

情報共有

11 / 14
（部会）

意見交換
質疑応答

意見集約

1 / 11
（部会）

意見交換

意見集約

3 / 13
（協議会）

とりま
とめ

報告

意見集約

各地域

地域活動協議会での説明会・ワークショップ・インタビューなどで意見を聴取

反映

西部地域バリアフリーまちづくりのアクションプラン の検討



「エリア計画の骨格」への意見の視点

■今回、地域の皆様から意見をいただいた視点

主に、地域の目線から、どのようなまちにしていきたいかという意見

- ①柴島浄水場開発用地に期待するまちの形やすがた
- ②淡路駅エリア（主に淡路駅、崇禅寺駅、柴島駅を中心とした地域）や、さらに周辺への広がりを踏まえたまちづくり

「エリア計画」（素案）への反映の方向性

- ・「エリア計画の骨格」に対して地域の皆様から頂いたご意見については、「エリア計画」（素案）への反映について市計画調整局と調整中です。（現在作業中のため修正案は非公表）
- ・今回作成する「エリア計画」のver1.0は、開発の大きな方向性を示すものであるため、個別具体的な意見を全てにおいて直接的には反映できません。ご了承ください。
- ・個別具体的な意見については、今後の淡路駅エリア計画の更新の際の参考とするとともに、西部地域バリアフリーまちづくりの「アクションプラン」に反映していく予定です。

（次頁へつづく）



方向性①：「エリア計画の骨格」の内容と概ね一致しているもの

- （ご意見の例）
- ・新大阪駅との交通アクセスの充実
 - ・公園ができればいい。緑が多いまちなみをめざしたい。防災拠点としても
 - ・車が増えて渋滞するのも困るが、やっぱり歩いて行きたくなるようなまちが望ましい
 - ・東淡路と柴島が分断されているのがうまく繋がっていくようなまちづくり
 - ・地域としては、駐輪場の確保は重要な視点である

方向性②：まちづくりの大きな方向性に関連するご意見であり、「エリア計画」のver1.0に追記し反映するもの

- （ご意見の例）
- ・これまでも、住民同士の「つながり」や「住民参加」などに重きをおき、地域活動を行ってきた歴史がある。地域の歴史やこれまでの取り組みの成果を踏まえることが必要
 - ・地域主体でコミュニティバスを運行する取り組みなどを行ってきた
 - ・まちの活性化のため、子育て世帯に定住してもらえるような場所にしてほしい
 - ・今住んでいる人たちが住み続けることができる政策を期待する
 - ・新地域と既存地域が1つに融合するような計画に
 - ・来訪者が、地域住民にとっての日常を同じように経験、「ふだん暮らし」を経験できるような仕掛けを

方向性③：柴島浄水場用地開発や阪急連立高架下空間の活用に関する具体的なお意見であり、今後、エリア計画の更新に向けた具体的なまちづくりの検討において参考とするもの

- （ご意見の例）
- ・商業施設、図書館、スポーツ施設、多目的ホール、美術館などの人が集まる施設を整備
 - ・集会所などの地域交流施設、子どもたちが遊べる公園など、地域住民が楽しめる空間を整備

方向性④：まちづくりの方向性に関連する意見であるが、今後、地域において議論を深め検討されるもの

- （ご意見の例）
- ・新大阪から区役所あたりまで、まちづくりに関するガイドラインといった、ゆるやかな誘導により人が歩くようなまちにしていく



今後の予定について

- ・ 「淡路駅エリア計画」のver1.0が「淡路駅エリア計画（素案）」として、「新大阪駅周辺地域まちづくり方針」の更新とあわせて、3月下旬に開催される、「第6回新大阪駅周辺地域まちづくり検討部会」において確認されます。その後、本協議会委員、まちづくり構想部会員各位に事務局より共有をいたします。

数多くの貴重なご意見ありがとうございました